

# 事業箇所総合評価シート

【担当課：下水道課】

事業名	補助流域下水道建設事業 (耐震)	路線名等	大和川上流流域 第一処理区 管渠		
箇所名	大和郡山市他				
事業の概要	目的	管渠の河川横断面部及び特殊階段人孔の耐震化を行うことにより、地震災害時でも最低限の処理を行うことができる。			
	事業内容	佐保川幹線(佐保川横断面部)管渠耐震化 ・短形渠 □3.3m×3.3m L=137m  富雄川幹線他特殊階段人孔耐震工事 ・富雄川幹線11箇所 ・佐保川幹線10箇所 ・南奈良幹線1箇所 ・樺本北幹線1箇所 ・天理北幹線1箇所 ・寺川幹線2箇所 計26箇所			
	着手年度	平成26年度	完成年度	平成29年度	全体事業費 593百万円
定性的評価	事業の必要性	<b>【必要性】</b> ①下水道施設の耐震対策指針では、河川横断面部と緊急輸送路等に埋設された管路を重要な幹線と位置づけ、耐震性能の確保を求めている。 ②佐保川幹線は、奈良市、大和郡山市の汚水を浄化センターへ送る重要な幹線であり、佐保川横断面部及び特殊階段人孔は現行の耐震性能が確保されていない。 ③特殊階段人孔は、大規模な地中構造物であり緊急輸送路等の車道ないし歩道に埋設されているものが多く、被災時の社会に与える影響は直接的かつ甚大である。 <b>【緊急性】</b> 早急に耐震性の確保が必要である。			
	上位計画等	大和川上流流域下水道事業計画(H24年11月)			
	事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	耐震化により大規模な地震が起きた場合においても、最低限の処理が可能となりライフラインを確保することができる。			
	コスト削減への取組み	管渠耐震化として更生工法を採用することにより、長寿命化が図られる。			
	地元情勢等	ライフラインの確保は防災対策上強く求められている。			
	他計画他事業との関連	奈良県地域防災計画(H20年)			
評価結果	左の理由				
採択	必要な耐震対策と認められるため採択とする。				

## 【位置図】

